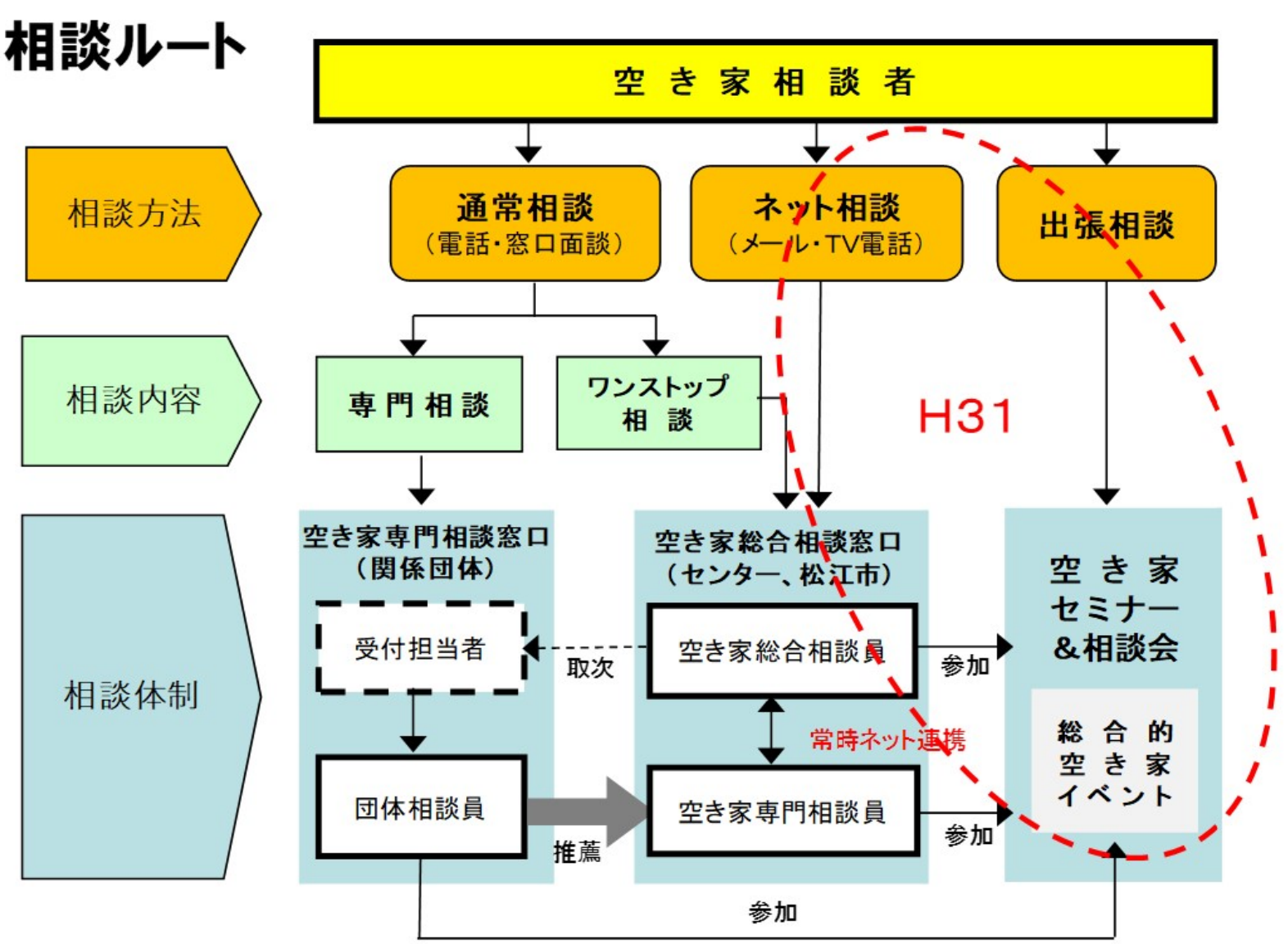


図1　プロジェクトの構成

1）PJ1／地域の専門家との連携体制の構築

① 空き家相談ネットワークの検討
総合相談窓口と専門相談窓口等の連携、総合相談窓口内の相談連携
② インターネットを活用した相談支援システムの整備
H30はシステム開発方針の検討

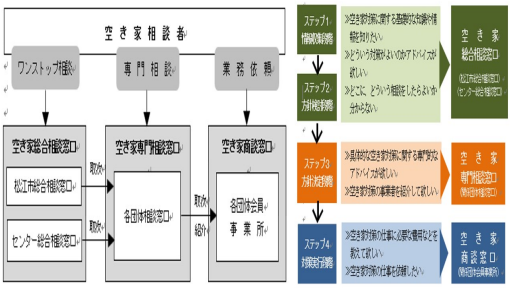
2）PJ2／空き家談員育成・支援

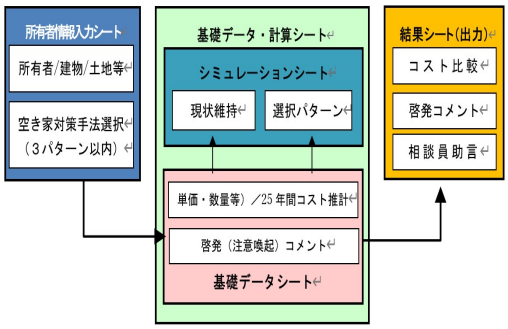
① 空き家相談業務支援ツールの作成
空き家所有者等意思決定支援ソフト、空き家相談員支援ガイドブック
② 空き家相談員の育成
空き家相談員登録制度・空き家相談員スキルアップ研修制度の実施

3）PJ3／多様な空き家相談事業の実施

① 既存相談窓口での相談対応の強化
空き家相談窓口の周知（チラシ配布）、空き家総合相談機能の強化
② 多様な相談・啓発機会の提供
ネットを活用した多様な相談機会の提供、空き家相談イベントの開催

図2 空き家相談ネットワーク概念図





平成30年度空き家対策の担い手強化・連携モデル事業：松江市における空き家対策推進研究プロジェクト

　空き家所有者の多様な課題に適切に対応するため、松江市をモデルとして、関係機関が連携して次の3つのプロジェクトを検討し、一つの取組として総合的に展開した。

PJ1：相談窓口と相談員の連携体制づくり（地域の専門家等との連携体制の構築）

PJ2：空き家相談の担い手づくり（空き家相談員の育成・支援）

PJ3：空き家相談の場・機会づくり（空き家相談事業の実施）

　これらの検討成果は次の通りである。

①空き家相談窓口連携体制の構築（総合相談窓口、専門相談窓口、商談窓口）

②空き家相談業務支援ツールの作成（所有者等の意思決定支援ソフト、相談員支援ガイドブック）

③空き家相談員登録・研修制度の整備（相談員登録制度・スキルアップ研修制度の検討）

所在地	島根県松江市
発注者	国土交通省
工期	2018年

©ICHIURA HOUSING & PLANNING